

モニターレポート (2月報告)

【報告内容①】

2月も後半になると、気温はまだ寒いですが、天気も穏やかになり、運動をする人や親子連れなどが目にはいるようになりました。

左岸の公園は植え込みや垣根が綺麗に剪定され、花壇では何かの球根が植えられているのか、新芽らしきものも出始め、春の到来を感じます。

島見の土手下では、ご近所の方らしき人たちが、フキノトウらしきものを採取していました。一生懸命で聞くことが出来ませんでした。

今後雪も少なければ、いよいよ春の到来です。公園の賑わいももう少しの辛抱です。

【事務所からのコメント】

3月に入り、阿賀野川沿いの雪もすっかり消え、河川内では畑耕作を始める人や、公園で遊んだり散歩をする人の姿が見られるようになってきました。花壇に花が咲き、家族連れで賑わう様子を思うと、春が待ち遠しいです。

阿賀野川の堤防にはフキノトウが芽生えており、折り重なった雑草を一心不乱にかき分けて小さく柔らかなフキノトウを摘む人々の姿は、毎年見られる早春の風物詩です。

【報告内容②】

雪がなくなり地面が見えるようになり、ゴミが目につくようになりました。特に見はらし公園としんすい公園の間のサイクリングロード沿いは目線が近く、車で入れるため、捨てやすさからか、あまりにもゴミが目につきます。ゴミ拾いに協力したいのですが、自宅へ持ち帰っての処分が難しく、何力所かに分けて集めておいて処分して頂くことは可能でしょうか。それか、自治体や農家さんなどと一斉に出来れば一番良いかと思えます。

瓢湖にいた白鳥も、北に移動し数が少なくなりました。3月中旬には全羽いなくなり寂しくなりますが、入れ替わりにひばりが来て高鳴きが聞けることと思えます。

【事務所からのコメント】

ご報告のとおり、3月に入り雪もすっかり消え、投棄されたゴミが目立つようになりました。河川パトロールでもゴミを確認しています。モニター様からも河川美化へのご協力のお話いただき、ありがとうございます。沿川自治体や占用地耕作者の方と一緒に活動される場合、「阿賀野川をきれいにする会」の構成団体であれば、当方もスムーズに対応できますので、一度ご確認ください。

阿賀野川に生息する鳥は、川がもつ多様性や豊かな自然環境から種類が多いことが特徴です。近年は冬に到来する白鳥の多さが話題になりますが、小さな小鳥のさえずりも心が和まされます。当事務所HPでは、阿賀野川の代表的な鳥の生息場所や特徴、見分け方などを紹介しておりますので、ぜひ御覧ください。

モニターレポート（2月報告）

【報告内容③】

阿賀野川沿いを車で巡回していると、京ヶ瀬地区のゴルフ場付近の畑に、多くのゴミが流されてきた残骸と思われるものが目立ちます。
今までもあったと思いますが、処分はしないのでしょうか。

【事務所からのコメント】

平野部は雪も融け、今まで雪の下に隠れていたゴミが目につくようになりました。流木の処理は行っていますが、投棄されたゴミに関しては、これまでも苦慮しているところです。
なお、ゴミが畑内にある場合は、耕作している占有者に、適切な管理をするよう指導してまいります。

【報告内容④】

先日、「環境と人間のふれあい館」(新潟水俣病資料館)に行ってきました。
私自身、小さい頃にそこで行われた熊本水俣病を学ぶ研修に参加し、熊本水俣病とその後の環境への取り組みを学び、環境モデル都市として、公害を教訓とし、環境に対する意識の高さが新潟より高いと感じていました。
しかし、先日ふれあい館で行われていた「子供がみた新潟水俣病」という、小学生が学んだ内容をパネル展示しているイベントを見て、当時より環境への意識を高める教育がされていると感じ、嬉しく思いました。

【事務所からのコメント】

阿賀野川河川事務所では、洪水などの災害から生命・財産を守る事業以外にも、河川環境に配慮し、地域の自然環境、社会環境と調和した、人と川とのふれあいの場の整備も進めています。